

令和2年5月14日

令和元年度日本語試験実施状況報告書  
【国際交流基金日本語基礎テスト】

独立行政法人国際交流基金

1 試験実施概要

別紙のとおり

2 試験実施主体（外部機関に試験実施を委託している場合には、その委託先機関を含む。）

独立行政法人国際交流基金

ただし、試験のコンピューター・ベースド・テスト（CBT）方式化（以下「CBT化」という。）及び海外での試験実施に係る業務は、CBT サービスを提供する事業者（プロメトリック株式会社）に業務委託を行った。

3 試験問題作成体制

日本語教育ないし言語教育等を専門とし、日本語教育（日本語教材、テスト等開発を含む。）に従事した経験を有する国際交流基金の日本語教育専門員が、試験問題の作成を担当した。作成された試験問題案について、日本語教育ないし言語教育等を専門とし、日本語テスト関連業務に従事した実績を有する外部専門家（3名を国際交流基金が委嘱）の確認を受け、試験問題を確定した。

4 試験申込方法（申込手順、定員数を超える受験希望者がいた場合の対応）

試験申込は、専用ウェブサイト希望日時と会場の空席情報を照らし合わせて申込者がオンラインで行い、受験料はクレジットカード決済ないし現金で徴収した。

また、多数の受験希望者が見込まれたミャンマー及びネパールにおいては、可能な限り申込手続が混乱しないようウェブサイトでの抽選や先着順受付を行った。

5 試験実施体制

試験のCBT化及び海外での試験実施に係る業務は、CBT サービスを提供する事業者（プロメトリック株式会社）に業務委託を行った。同事業者は、試験会場の手配、試験監督者等会場要員の手配、受験予約の受付、試験当日の会場運

営（受験者の本人確認を含む。）、試験問題の配信、結果通知等、試験に関する事務を実施した。

国際交流基金が設置する、日本語教育やテスト理論の専門家による有識者委員会から、試験の実施状況に対する助言を聴取し、試験の適切な運用に役立てた。

## 6 試験水準

『特定技能』に係る試験の方針について」に定められた、基本となる日本語水準を測る以下の尺度にのっとり、ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の「学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参考枠」（CEFR）A2レベル相当の日本語力を持っているかを判定した。

- ・ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
- ・自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

## 7 合否の基準

総合得点の10点から250点の得点範囲において、国際交流基金が定める判定基準点（200点）を超えていることとした。

## 8 合否の通知方法

試験終了後、試験会場のコンピュータ画面上で試験結果を表示するとともに、後日、結果通知書（受験番号、氏名、生年月日、性別、国籍、顔写真、受験日、受験地、結果通知書の発行者、試験名、試験結果・得点等の基本情報を含む。）をメールで送信ないし専用ウェブサイト上で発行した。

## 9 試験結果の公表方法

試験1回ごとに、試験の実施日、実施場所等の実施概要と、受験者数、基準点到達率等の試験結果データを、国際交流基金が運営するウェブサイトで公表した。

## 10 合格証明書発行・交付手数料の有無及び方法（手数料を徴収している場合は、その額を含む。）

手数料は徴収していない。

## 1.1 試験の適切な運用に向けた取組状況

(1) 具体的な取組状況等（試験実施主体に対する指導監督状況、当初予期しなかった不正行為への対策、不正等が発覚した場合における合格取消措置等）

### ア 試験申込段階

- ① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）  
試験会場で個人認識ができる公式書類を照合することを前提として個人情報を直接入力させる仕様とした。
- ② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応  
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。
- ③ ②を踏まえた新たな改善策の内容  
引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を徹底する。

### イ 受験者の本人確認段階

- ① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）  
予約時の受験者が本人であることの確認は、試験当日の、パスポート等顔写真付きの公的な書類による本人確認、結果通知書に掲載する顔写真の撮影などの対応策により行った。初回の試験実施に際しては、国際交流基金職員が試験会場に赴き、業務委託先による対応策の実施状況の確認を行った。
- ② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応  
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。
- ③ ②を踏まえた新たな改善策の内容  
引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を各試験会場にて徹底する。

### ウ 試験実施時

- ① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）  
受験者規模に応じた適正な人数の試験監督者の配置、試験室入場前の持ち物検査の実施（試験室への私物持ち込み禁止）、試験室内の席と席との間のパーテーション設置、監督員による監視カメラと目視による確認などの対応策により、不正防止を図った。初回の試験実施に際しては、国際交流基金職員が試験会場に赴き、業務委託先による対応策の実施状況の確認を行った。
- ② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応  
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。
- ③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を各試験会場にて徹底する。

エ 合格通知、合格発表、合格証明書交付・発行段階

① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）

在留資格申請における不正防止のため、結果通知書の真偽確認ができるデータベースを用意した。

② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応  
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。

③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、データベースの整備と活用を進める。

(2) 不正等の発覚による合格取消の有無（有の場合は、その数及びそれぞれの発覚した不正等の内容）

令和元年度の不正行為件数は0件であった。

1 2 事業年度途中で、試験問題について、大きな改善を行った場合は、その改善内容、改善の必要性

試験問題の事前及び事後の検証において、大きな改善の必要性は確認されなかった。

1 3 試験実施に当たっての試験実施国政府との調整状況及び今後の課題

試験実施前に、出入国在留管理庁を通じて試験実施政府に実施計画を提出し了解を得て実施している。

ネパール、ミャンマーは受験希望者が多いため、受験者数の調整や受験者問合せ対応の充実が課題となり、引き続き出入国在留管理庁を通じて相手国政府と協議していく必要がある。

1 4 その他、試験実施全般に関して生じた問題とそれに対する改善措置

2020年1月の試験において、受験者1名の判定結果通知書の内容に誤りがあったことが判明したため判定結果通知書を再発行するなどの対応を行った。

なお、全ての受験者の判定結果通知についてあらためて確認作業を行ったが、他には同様の事例は確認されなかった。

以上

## 【試験実施概要】

分野：日本語試験

試験区分（試験名）：国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験言語	受験料
	国	都市								
1	フィリピン	マニラ	2019年4月	2019年5月24日	57	33	57.9	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
2	フィリピン	マニラ	2019年5月	2019年6月28日	110	55	50.0	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
3	フィリピン	マニラ	2019年6月	2019年7月26日	160	41	25.6	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
4	フィリピン	マニラ	2019年8月	2019年8月19日	133	64	48.1	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
5	フィリピン	マニラ	2019年9月	2019年9月30日	189	74	39.2	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
6	フィリピン	マニラ, セブ	2019年10月, 11月	2019年12月2日	642	268	41.7	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
7	フィリピン	マニラ, セブ, ダバオ	2020年1月	2020年2月17日	738	330	44.7	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
8	フィリピン	マニラ, セブ, ダバオ	2020年3月	2020年4月6日	928	365	39.3	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
9	カンボジア	プノンペン	2019年10月	2019年12月2日	91	22	24.2	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD
10	カンボジア	プノンペン	2020年1月	2020年2月17日	118	31	26.3	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD

11	カンボジア	プノンペン	2020年3月	2020年4月6日	166	35	21.1	CBT	日本語, 指示文は クメール語	22USD
12	インドネシア	ジャカルタ	2019年 10月, 11月	2019年12月2日	340	129	37.9	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
13	インドネシア	ジャカルタ	2020年1月	2020年2月17日	410	156	38.0	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
14	インドネシア	ジャカルタ, スラバ ヤ	2020年3月	2020年4月6日	841	345	41.0	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
15	ネパール	カトマンズ	2019年 10月, 11月	2019年12月2日	497	56	11.3	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
16	ネパール	カトマンズ	2020年1月	2020年2月17日	625	82	13.1	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
17	ネパール	カトマンズ	2020年3月	2020年4月6日	701	155	22.1	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
18	モンゴル	ウランバートル	2019年11月	2019年12月2日	60	37	61.7	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
19	ミャンマー	ヤンゴン	2020年3月	2020年4月6日	1165	459	39.4	CBT	日本語, 指示文は ミャンマー語	22USD

(注1) 記載にあたっては、国ごとに試験実施年月順に記載をしてください。

(注2) 国内試験については、「国」欄に国内と「都市名」欄に「市町村名」を記載してください。

(注3) 試験言語については、日本語、英語、現地語（言語名を記載）してください。